

別紙: 令和4年知事表彰対象者功績一覧

○団体表彰16件

・新型コロナウイルス感染症対策に関する業務の部(2件)

	表彰対象者	功績名/功績内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策本部事務局</li> <li>・健康医療局医療政策課</li> <li>・くらしの安心局くらしの安心推進課</li> <li>・中部総合事務所県民福祉局</li> <li>・中部総合事務所倉吉保健所</li> <li>・西部総合事務所県民福祉局</li> <li>・西部総合事務所米子保健所</li> <li>・機能別クラスター対策チーム</li> <li>・県立病院新型コロナウイルス感染症対策チーム(中央病院・厚生病院)</li> </ul>	<p><b>県民の健康と生活を守るBA.5対応型安心確立進化系システムの構築</b></p> <p>全国トップレベルの検査・医療提供体制及びオミクロン株緊急体制等の全庁総力体制で感染症対策に取り組むとともに、機能別クラスター対策チームによる学校、社会福祉施設等での感染抑制を機動的に行った。また9月には、新型コロナウイルス感染症発生届の限定により、発生届の対象とならない陽性者に対する相談、健康観察等の支援を行うため、全国に先駆けて陽性者コンタクトセンターを設置し、誰一人取り残さない体制強化を進めた。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流局観光戦略課</li> <li>・くらしの安心局くらしの安心推進課</li> <li>・市場開拓局</li> <li>・中部総合事務所環境建築局</li> <li>・西部総合事務所環境建築局</li> </ul>	<p><b>コロナ禍乗り越えに向けた観光・飲食分野等の需要回復への貢献</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、多くの観光事業者や飲食店等が甚大な影響を受ける中、#WeLove山陰キャンペーン、スペシャルウェルカニキャンペーン、ウェルカニとっとり得々割(全国旅行支援)などによる切れ目のない施策や、「新型コロナ安心対策認証店」を対象とした需要喚起対策事業や感染対策のガイドラインを感染状況に応じて柔軟に改定することで観光・飲食分野等の需要回復に寄与した。</p>

・一般業務の部(10件)

	表彰対象者	功績名/功績内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新時代・SDGs推進課</li> <li>・商工政策課</li> </ul>	<p><b>SDGs推進に向けた人財・ネットワークづくりの一層の加速</b></p> <p>都道府県単位では初となる企業対象のSDGs認証である「とっとりSDGs企業認証制度」の創設などの先進的な取り組みを進め、令和4年度「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されるとともに、地域版SDGs調査のSDGs評価ランキングでは3年連続1位を獲得するなどSDGs推進県として、一定の評価を得ながら、本県らしい持続可能な地域づくりをより一層加速させた。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画センター</li> <li>・女性活躍推進課</li> </ul>	<p><b>日本女性会議2022in鳥取くらしよし開催等を通じた男女共同参画社会の推進</b></p> <p>「日本女性会議」の開催をオブザーバーとしてバックアップするとともに、プレイベントを企画し、誰もが共に笑顔になれる夢ある未来について考えるきっかけ作りを行った。また、女性活躍推進の深化・加速化に向け「女性活躍 夢ある未来Smile宣言」を打ち出し、女性がいきいきと活躍できる社会づくりの機運を一層高めた。</p>
3	観光交流局交流推進課	<p><b>ウクライナ避難民が安心して暮らせる環境の整備</b></p> <p>ウクライナからの避難民受入支援を進める24時間対応の相談窓口を開設するとともに、庁内に「ウクライナ避難民受入支援ワーキンググループ」を立ち上げ、関係機関と情報共有しながら生活、住居、就労等の支援体制を整備し、安心して避難できる環境を作り上げた。</p>
4	デジタル・行財政改革局デジタル改革推進課 県庁DX推進担当	<p><b>県庁DX(次世代庁内LAN)による県庁業務の効率化</b></p> <p>情報セキュリティ対策強化による業務効率の低下や新型コロナウイルス感染拡大による行政事務と県民サービス提供への影響といった課題を解決するため、既存の庁内LAN構成の抜本的見直しや現行の運用業務やセキュリティのあり方の見直しにも果敢にチャレンジし、実証実験を重ねながら、働く場所が限定されないハイブリッドワーク環境や様々な新技術を高度に組み合わせた情報セキュリティと業務の効率性を両立する全く新しい県庁業務環境を構築するなどした。その結果、延べ1万人を超える職員がパソコンを活用して在宅勤務を行ったほか、年間約35万時間を創出するなど県庁業務の効率化を牽引した。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会推進課</li> <li>・くらしの安心局住まいまちづくり課</li> </ul>	<p><b>とっとりエコライフに向けた省エネルギー化の推進</b></p> <p>脱炭素社会実現のため、従来から取り組んできた温室効果ガス削減行動をさらに加速させ、家庭で楽しく取り組めるとっとりエコライフキャンペーンの実施やとっとりエコライフパートナー制度の創設、また住宅の省エネ性能を高めるため健康省エネ住宅(NE-ST)の普及推進や既存住宅の改修を対象とした健康省エネ住宅改修基準(Re-NE-ST)を全国に先駆けて策定するなど、省エネルギー化・ゼロエネルギー化に向けて着実に取り組みを進めた。</p>
6	商工労働部	<p><b>コロナ禍・円安・物価高騰等に対するきめ細かな事業者支援の展開</b></p> <p>長引くコロナ禍に加え、物価高騰や円安等が県内事業者には大きな影響を及ぼす中、事業者との距離感が近い本県ならではの支援策として、切れ目のない、迅速な応援金の支給や、感染対策と経済活動の両立を図るための新事業・新分野の展開支援、円安や物価高騰に対応した特別金融支援等、「今、求められていること」に最大限応え、苦境に立つ県内事業者の事業継続や雇用維持に寄与した。</p>

	表彰対象者	功績名／功績内容
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>防疫作業等に従事した全ての職員</li> <li>畜産振興局畜産課</li> <li>危機管理局</li> <li>鳥取家畜保健衛生所</li> <li>東部地域振興事務所</li> <li>東部県税事務所</li> <li>東部建築住宅事務所</li> <li>東部農林事務所</li> <li>東部農林事務所八頭事務所</li> <li>鳥取県土整備事務所</li> <li>八頭県土整備事務所</li> </ul>	<p><b>高病原性鳥インフルエンザ発生に対する迅速な防疫の実施</b></p> <p>県内初めての家きん農場での高病原性鳥インフルエンザ発生に対して、自衛隊等の応援のもと、迅速な封じ込めとまん延防止を実施し、適切な防疫作業や正確な情報提供を行った。</p>
8	水産振興局漁業調整課	<p><b>豊かな海の再生を目指すブルーカーボンプロジェクトの幕開け</b></p> <p>豊かな海の再生を目指し、大量発生したムラサキウニによる藻場被害を解消するため、市町、沿岸漁業者、ダイビングショップ(ボランティアダイバー)と共同で集中駆除を開始し、また漁協、産業技術センター食品開発研究所とムラサキウニの商品化に必要な技術開発に着手した。そして次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために「海と日本プロジェクト」に取り組む日本財団や漁協、農林中央金庫等と鳥取ブルーカーボンプロジェクトを始動させ、ムラサキウニを通して磯焼け等の海の問題について考えるイベント・環境学習やとっとり海のごちそう祭を通じながら、とっとりの海を未来へつなぐ県民の環境意識を育んだ。</p>
9	水産試験場	<p><b>活魚沈静化システム開発による高鮮度活け締め魚の大量供給を実現</b></p> <p>養殖ギンザケの高鮮度出荷のために重要な活け締めには、従来殴打して沈静化させる手作業処理が必要であったため、重労働かつ処理できる量に限界があったが、平成27年度から米子高専、弓ヶ浜水産、漁業機器メーカーとの協働により「活魚沈静化システムの開発」の研究に取り組んだ結果、実用レベルの沈静化装置システムの開発に至った。これにより、短時間・少人数での大量の活け締め処理が可能となり、年間2,000トン程度の生産・出荷体制を構築することができ、また県外の大規模養殖場でも本システムの導入需要が見込まれ、今後の全国的な生産性向上への寄与が期待される。</p>
10	博物館	<p><b>ティラノサウルス展 ～T.rex 驚異の肉食恐竜～の大盛況</b></p> <p>開館50周年となる同館では、ティラノサウルスに関する企画展を日本海テレビ、読売新聞社と共同で開催し、さらに関連イベントとして着ぐるみを使った「ティラノサウルスをみるティラノサウルス展」「ティラノサウルスコンテスト」を鳥取市、ティラノサウルスレース大山(日本ティラノサウルス保存会)とともに実施した結果、同館の展覧会入場者数を46年ぶりに更新するとともに、県民の知的好奇心を刺激し、自然科学への興味・関心を大いに高めた。</p>

・社会貢献活動・社会的功績の部(1件)

	表彰対象者	功績名／功績内容
1	SEIBUちょっといいことプロジェクト	<p><b>SEIBUちょっといいことプロジェクト～職員有志による子ども食堂や動物愛護ボランティアの支援～</b></p> <p>西部総合事務所の職員有志が、とっとり県民活動活性化センター職員らとともに「SEIBUちょっといいことプロジェクト」として、ボランティア団体への寄付付きグッズとして手作りデザインのTシャツ等を制作し、賛同する職員に販売して集まった寄付金を子ども食堂や犬猫の譲渡ボランティアを行うボランティア団体等に寄付する活動を実践し、職員間の社会貢献の輪を広げた。</p>

・カイゼン大賞の部

令和4年度カイゼン発表会(12月23日開催)の上位受賞所属

発表会の成績	
<p>【金賞】</p> <p>地域づくり推進部市町村課</p>	<p><b>新型コロナ動員の部内取りまとめDB</b></p> <p>部内の新型コロナ動員取りまとめをデータベース化し、動員者登録の簡素化、取りまとめ作業の負担減、リアルタイムで動員情報の共有等を実現するなど、新型コロナ動員管理業務の省力化を図り、円滑な業務執行に繋がった。</p>
<p>【銀賞】</p> <p>総務部財政課</p>	<p><b>『全庁』でコロナを乗り越えるための働き方改革</b></p> <p>新型コロナ対応業務に加え、物価高騰・円安対策も急務となり、大型補正予算編成作業が生じるなどする中、補正・当初予算編成作業の簡素化、公共事業事前審査の簡素化、当初予算編成作業の更なる省力化に取り組み、全庁的な負担軽減を図った。</p>
<p>【銅賞】</p> <p>中部総合事務所県民福祉局総務室</p>	<p><b>簡単にスピーディー 物品請求書DBの構築</b></p> <p>物品購入事務の簡素化・コピー用紙の削減等の観点から、中部総合事務所全体で使用する物品請求DBを作成し、決裁までの時間短縮、分散/在宅勤務への対応、情報の見える化を図った。</p>

○個人表彰3件

・新型コロナウイルス感染症対策に関する業務の部(1件)

	表彰対象者	功績名／功績内容
1	感染拡大地域で医療機関の支援業務に従事した職員	<p><b>新型コロナウイルス感染拡大地域の医療機関での新型コロナウイルス感染症患者対応の看護業務に従事</b></p> <p>新型コロナウイルス感染者が急増した自治体等から派遣要請を受け、自らも感染不安を抱えながら医療機関での新型コロナウイルス感染症患者対応の看護業務に献身的に従事した。</p>

・社会貢献活動・社会的功績の部(1件)

	表彰対象者	功績名／功績内容
1	中部総合事務所県土整備局道路都市課 土木技師 岡本峰夫	<p><b>大山山系における山岳救助等の活動</b></p> <p>平成30年度から鳥取県山岳・スポーツクライミング協会の遭難対策委員として、年間を通じて主に大山山系の遭難事案における捜索及び救助活動を行ってきており、令和4年2月に大山で発生した遭難事案では悪天候の中適切な捜索・救助活動に尽力した。また、一般県民等へ山岳関連の講習会の実施、大山における冬季山岳パトロールに参加する等、安全登山の普及活動を精力的に行い、山岳での事故等の未然防止に広く貢献している。</p>

・職員の元気づくり等貢献の部(1件)

	表彰対象者	功績名／功績内容
1	農林水産部森林・林業振興局県産材・林産振興課 係長 大石幸司	<p><b>全日本弓道遠的選手権での優勝</b></p> <p>第73回全日本弓道遠的選手権大会に鳥取県代表として出場し、決勝で10射10中、延長戦となる射詰め競射で3本連続的中の見事な成績で優勝し、自身2度目の全国制覇の偉業を成し遂げ、県民・職員に元気を与えるとともに県の知名度の向上に貢献した。</p>